

「さんコープ看護小規模多機能型居宅介護 宮野」 運営推進会議 議事録

開催日時	第2回・2022年1月25日(火) 10:00~11:00
開催場所	さんコープ看護小規模多機能型居宅介護 宮野 事務室
出席者	利用者・家族1名 地域住民代表2名(上桜島町内会会長、上桜島町内民生委員) 市・包括職員1名(北東地域包括支援センター宮野地区担当) 計7名 事業所の職員3名
報告事項 活動状況	①看多機利用状況 ・12月介護度別利用者数 要介護1:2名、要介護2:0名、要介護3:2名、要介護4:1名、 要介護5:1名、計6名 ・サービス別利用人数(延べ) 通い:93名、訪問介護:3名、訪問看護:3名、泊まり:71名 ②訪問看護利用状況 ・12月介護度別利用者数 要介護1:0名、要介護2:2名、要介護3:0名、要介護4:3名、 要介護5:3名、未認定:2名、計10名 ③事故・苦情 転倒事故4件(ベッド周囲2件、床1件、ソファ1件) ④研修等への取り組み ・途中採用職員オリエンテーション研修 ・医療的ケア実技 ④日常運営 ・生協10の基本ケアの実践について
評価 感想 要望 意見等	・介護度の高い方の受け入れであっても、介護ケア対応によって要介護者が施設に居ることが中心の生活から在宅での生活にウエイトを掛けられる様になっていることは高く評価できる。 ⇒看護小規模多機能型居宅介護事業は、在宅での生活を支える施設として機能させていく必要がある。今後も、その点を念頭に、利用者の状態改善に積極的に取り組んでいく。 ・様々な状態の利用者を受け入れていることで、職員の負担は大きいのではないかと推測する。職員へのケアも十分配慮されることを望む。 ⇒利用者の増加に伴い、職員体制も補強していくことが必要で、現在も継続して職員採用をすすめている。計画的に職員配置をすすめていく。
その他	・新型コロナウイルス(オミクロン株)の感染拡大が、山口県内でもすすんでおり、日常の感染防止対応に取り組んでいく。地域と連携した施設運営(サロンの開催等)は、その状況をみながら判断していく。
次回日程	2022年3月29日火曜日 10時~(予定)